たんちょう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.134
2018.12

JAくしろ丹頂

研修生受入施設新築 完成!!

CONTENTS

- 研修生受入施設竣工式 ―― 1～2
- G'Grass（グッドグラス）2018 ―― 3
- JAくしろ丹頂白糠年金友の会 温泉慰安旅行
  釧路丹頂農協酪農振興会視察研修
  JA女性部フレッシュミズ交流会 ―― 4
- 職員研修会/JAホームページ強化プロジェクト発足式
  JA人事管理制度研修会 ―― 5
- 平成26年度以降採用職員 農場実習体験記 6～8
- 乳質改善PJ情報局 ―― 9
- 普及センターだより ―― 10
- JAグループ通信 ―― 11
- JA共済からのお知らせ ―― 12
- 「タオルを送る運動」メッセージ ―― 13
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / 辞令発令
  農業用廃プラスチック回収 ―― 14
- 年末年始日程表 ―― 15

楽しかったねんとも（年金友の会）旅行

研修生受入施設 竣工式

～ 新たな担い手の確保・育成、今後の発展を願い ～

12月7日、鶴居村鶴居東6丁目で当ＪＡ研修生受入施設新築竣工式が行なわれました。

当ＪＡが目指す新たな担い手の確保・育成に必要な生活空間を提供し、新規就農希望者並びに担い手等の定住促進を図るとともに、農業関連等にかかわる研修生の受入を積極的に行なうための施設が完成致しました。

施設は木造平屋建で、家族世帯と単身世帯が各1組ずつ入居可能で、会議や相談等を行なうことができる交流室も完備しております。単身世帯用には電化製品、家具等を備えいつでも入居可能となっております。今後、研修生の受入拡大と農業の担い手確保を図る施設として活用して参ります。

延床面積 119.24㎡
世帯用　２ＬＤＫ
（延床面積 61.28㎡）
単身用　１ＬＤＫ
（延床面積 42.50㎡）
交流室　１Ｒ
（延床面積 9.94㎡）

研修生受入施設　愛称募集

世帯用　ＬＤＫ

玄関　　世帯用　　単身用

世帯用　洋室①

世帯用　洋室②

単身用　ＬＤＫ　家具付

単身用　寝室

※今回、組合員及びそのご家族の皆様に施設の愛称（ネーミング）を募集します。今後、末永く活用され多くの皆様に愛される愛称を考えて頂き、別紙応募用紙に必要事項をご記入の上、ＦＡＸにてご応募願います。応募頂いた方には、心ばかりのお礼の品を送らせて頂きます。沢山のご応募をお待ちいたしております。

交流室

G'Grass（グッド・グラス）2018 開催

～ 酪農経営・生産基盤の強化、向上を目指して ～

10月31日、標茶町で、釧路農協連・釧路地区酪農対策協議会主催による「グッド・グラス２０１８」（フォーラム＆展示会）が開催されました。

釧路管内が将来的に情勢変化に耐え得る収益性の高い経営継続と管内地域酪農の生産維持・自給飼料率の向上、利用価値の高い良質粗飼料確保の普及、推進を図る目的で行なわれ、釧路管内の農業者・各関係者計２３１名、当ＪＡからは組合員、役職員19名が参加しました。

フォーラムは、北海道農政部生産振興局 齋藤 潔氏による「良質粗飼料…の良質を再確認」と題し、安定的な経営を目指すため、植生改善や粗飼料品質改善等について様々な角度から分析し、目的・目標・手段に分けて解りやすく説明頂きました。

展示ブースでは、18農場から持ち寄ったサイレージの品質について参加者によるランキング付け、評価、投票をし、安宅一夫審査員（酪農学園大学名誉教授）の講評を受けました。

参加者からは「これからも牛が喜ぶサイレージづくりに取り組んでいきたい。」との声も聞かれるなど大変意義あるフォーラムとなりました。

良質サイレージの品質をチェック

JAくしろ丹頂白糠年金友の会 温泉慰安旅行

11月14日から3日間、当JA白糠支所年金友の会は、阿寒湖畔のニュー阿寒ホテルにおいて温泉慰安旅行を実施しました。

会員47名が出席し、ホテルで和田アキ子さんのものまねショーやビンゴ大会などで懇親を深めました。また、「下町かぶき組」による時代劇の鑑賞等思い出に残る楽しいひと時を過ごしました。

ものまねショーの1コマ

釧路丹頂農協酪農振興会 視察研修

11月5日から2日間、当JA酪農振興会は、8名の会員で視察研修を実施しました。

1日目は、オリオン機械千歳工場を視察し、搾乳ロボットやキャリロボ、自動給餌機等の説明を受け、メンテナンスの重要性等について学びました。

2日目は、札幌オリンピックミュージアムを見学し、オリンピックの歴史や精神等を知り大変意義ある研修となりました。

オリオン機械千歳工場を視察

JA女性部フレミズ交流会

～ボウリングで懇親を深める～

10月29日、釧路市で当JA女性部フレッシュミズ部会が交流会を実施しました。部員12名が参加しボウリング大会が行なわれ、好プレーも続出するなか交流を深めました。終了後は昼食をとりつつ楽しいひと時を過ごしました。

職員研修会を実施

11月8・9日の両日、本所及び白糠支所で全職員と子会社を対象とした研修会を実施しました。

講師にJA北海道中央会根釧支所 大関翔太郎主査を迎え、公認会計士監査制度への移行と内部統制、情報セキュリティ、JAの仕組み～協同組合を学ぶ～をテーマに研修を実施し理解を深めました。

今後も研修会等を継続実施し、不祥事未然防止対策等に取り組んで参ります。

研修風景 白糠会場

JAホームページ強化プロジェクト開始!!

11月1日、本所でJAホームページ強化プロジェクト発足式が行なわれました。本プロジェクトは、第3次中期経営計画の重要課題となっている「JAのことを知ってもらう取組の強化」を目標に掲げ、ホームページの掲載内容、掲載方法等を検討し、より良いものにしていく目的で、プロジェクトメンバーとなる当JA職員9名に武藤組合長より委嘱状が手渡されました。このプロジェクトの設置期間は来年5月迄で、より良いものを作れるよう取り組んで参ります。

JA人事管理制度研修会

11月26・27日、本所で、本・支所の課長職及び本年度新採用職員・正職員登用者を対象とした人事管理制度研修会が行なわれました。

JA中央会根釧支所 大関主査及び同会総合コンサル課 門谷主幹を講師に招き、課長職を対象に考課者訓練（考課実務）等を、新採用職員・正職員登用者を対象に人事考課の基礎知識と実務上の留意点等を学び理解を深めました。

管理職研修会の様子

平成26年度以降採用職員

農場実習体験記 No.2

農場実習を実施した職員の貴重な酪農体験記をご報告致します。

白糠支所・金融共済課　村井海渡（むらいかいと）

私は、今回、五十嵐農場で実習をさせていただきました。私は今まで、牛の餌やりや牛舎の掃除を体験していたことはありましたが、搾乳作業はほとんど経験が無く戸惑うばかりでした。パーラーに入るのも初めてで前搾りにも時間がかかってしまい、農場のみなさんや牛たちにも申し訳無い気持ちでいっぱいでした。それが少しずつできるようになって、牛たちも私に慣れてきてくれた頃に実習が終わってしまい、名残惜しい気持ちでいっぱいです。

この実習を行うにあたって、私は何か成果を得るために大きく分けて２つの目標を持って臨みました。１つは積極的にコミュニケーションをとることです。これは日常業務の中でも課題としていたことで、正直なところ不安でした。最初は緊張してあまり積極的に話しかけることはできませんでしたが、五十嵐農場のみなさんが優しく接して下さったおかげで、仕事のことや疑問に思ったことを自由に言えるようになりました。これからは、さらに積極的に自然な会話ができるよう心がけていきたいです。

２つ目の目標は、農協職員として私に何ができるのかを見つけることです。普段、組合員のみなさんがどんな仕事をしているのか私はほとんど知りませんでした。実際に農作業をしてみると、酪農家という仕事がどれだけ大変で厳しいものなのか身を持って知りました。農協は組合員のためにあると理解はしていましたが、まだまだ自分の考えは甘かったなと思いました。未熟な私にできることはあまりありませんが、その中で何をすれば良いのか自分で考え行動していかなければならないと強く思いました。

この３日半という短い期間でたくさんのものにふれ、多くのことを感じることができたのは私がこれから農協で働いていく上で、とても大きな糧になると思います。今回学んだ全てのことを生かして、組合員及び地域のために、私にできる限りのことをやっていきたいと思います。実習を受け入れてくれた五十嵐農場のみなさん、そして組合員や機会を与えてくれた農協・関係各所に対する感謝を忘れずに、これから業務に励んでいきたいと思います。本当にありがとうございました。

本所・購買部生活課　坂上奨真（さかがみしょうま）

私は、今回の実習で協栄農場の皆さんとコミュニケーションをとること、自らわからないことを質問し理解することを目標に実習へ行かせてもらいました。

初日は、初めて牛を間近で見たというのもあって、牛は自分が想像していたよりも大きかったこと、搾乳作業はとても大変なんだな、などとても簡単な感想しか思い浮かばなかったが、２日目、３日目になると、牛のことを理解し始め、知りたいこと、もっと深く聞きたいなど牛に対しての興味が自然と増え、自ら質問し理解を深めることができ牛を知ることがとても楽しいことなんだと感じることができた。特に２日目の牧場の概要と見学をさせていただいた際にはそれぞれの牛舎の説明を受けて、分娩、哺乳、哺育、育成、そして治療牛と、各牛舎の概要とその牛舎で行われている作業を聞いて、２日目にして沢山のことを学ぶことができ、とても楽しかったし、為になる話を聞けたのかなと思いました。

今回の実習は、最初は何もかもが初めてで不安な気持ちでいっぱいだったけれども、協栄農場の皆さんが温かく、そして親切丁寧に接してくれたおかげで、楽しくそしてより深く酪農について学ぶことができた、とても良い貴重な経験をさせて頂けたと思います。

このたび、このような機会を作ってくださった農協の皆さん、そして約４日間自分の世話をしてくださった協栄農場の皆さんに感謝をし、今回の実習で得た知識と経験を今後の業務に生かしていこうと思います。

本所・営農部営農相談課　西塚悠人（にしづかゆうと）

私は、今回農事組合法人高橋農場さんにて3.5日間の実習を行わせて頂きました。以前私は、ＪＡカレッジの実習の時、株式会社夢牧場にてパイプラインでの搾乳を経験もしていたため、パーラーでの搾乳もスムーズに行えると思っていました。ですが、ミルカー等の起動のさせ方から違いがあり、又ミルカーの離脱のタイミングにも違いがあり、新しい経験をすることが出来ました。

哺育牛へのミルクについても、分量が違ったり、入れる物も異なっており、農場によってメニューが考えられている事も経験することができました。酪農セミナー等で実習してきた内容も間違ってはいないとは思うのですが、色々な見方があるのだなと感じました。頭の中ではわかっている事でもいざ行動に移そうとすると、少しのためらいが出てきたりする場面があり、そこで行動が遅くなることがありましたが、経験を積むにつれてそういった事もなくなり、最終日にはもう少し実習をしていきたいと思いました。事務仕事だけでは、わからなかっ

た農場としての動きや、作業を今回現場で感じとることが出来ました。これからの営農相談課としての業務に今回の経験を活かし、取り組んで行きたいと思います。

今回私達を受け入れてくれた農事組合法人高橋農場さんには感謝しきれない程お世話になりました。誠にありがとうございました。

本所・購買部燃料課　遠藤悠人（えんどうゆうと）

私は、今回の農場実習を通じてとても多くの事を勉強させていただきました。高校、ＪＡカレッジにて酪農については少しではありますが勉強してきましたが、いざ現場に入ると私が知らないこと、貴重な体験の連続でやはり知識だけではなく実際に見て触れないといけないと当たり前のことではありますが、改めて理解しました。

今回初めて牛に触れて右も左もわからない中ではありましたが高橋農場の皆様にご指導ご鞭撻を賜り、最初の方は牛舎の餌寄せからミルカー１つを牛に付けるのも全然できなかったのが終盤には若干のたどたどしさこそありましたが、一通り出来るようにもなり大変良い経験になったと思っています。

私は今回の実習で少しでも農家の方々が日頃どういった仕事をしているか理解するのを目標に取り組んできました。月曜日から木曜日までの約４日間でほんの一部分ではありましたが、理解を深めることができたのではないかと思っています。

現在私は鶴居給油所にて業務を行っていますが、この実習で得た経験は必ず私自身にとって良く働くと思っているので、この体験を忘れずに毎日の業務に励みたいと思います。

最後になりますが、高橋農場の皆様を初めこの貴重な体験をさせてくださった全ての方々に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

～実習ミニ写真館～

的確にご指導頂きました！

アドバイスを受けつつ多くの事を学びました。

実習期間中、お世話になり大変ありがとうございました!!

乳頭周辺から乳房炎原因菌を減らす

パレートの法則という言葉を耳にしたことはあるでしょうか？

イタリアの経済学者が論文で提唱した法則で、その説明文によると「物事を構成する要素が全体に占める割合は偏りがあり、複数の要素のうちの一部の要素が全量の大部分の割合を占めている」と記されています。やや分かりづらいので、別の言葉にすると「多くの現象には８：２程度のばらつきがある（80：20の法則）」というものです。

例えば

・売上の８割は、全商品のうちの２割の銘柄の商品が担っている

・売上の８割は、全体の２割の顧客によるものである

・仕事の成果の８割は、費やした時間全体の２割の時間が生み出している

・機械の故障の８割は、全部品のうち２割の部品に原因がある

・公務員の果たすべき業務の８割は、職員全体の中で２割の職員が担っている

最後の例は９：１かもしれませんが、なんとなく多くのケースで当たっているような感じを受けます。

乳房炎のコントロールにおいても、大半の現場でこの法則を利用することができます。つまり「乳房炎を発症させる８割は、様々な要因の中の２割に集約される」といった視点です。

前回の記事でもそのごく一部に触れましたが、乳房炎を発症させる要因は無茶苦茶たくさんあります。しかし、各農場に適した重要度の高い２～３つが上手くコントロールされれば、驚くほどの効果が期待でき、実際そうした事例は数多くあります。

乳房炎を発症させる要因をあれこれ並べたチェックリストを現場へ持ち込み、つぶさに調べ上げて原因を探る取り組みも結構ですが、残念ながらそうした取り組みが大きな成果を挙げた話は（取り組んだ人の自慢話以外では）ないようです（もちろん関係機関のビギナー職員の勉強という点では価値がありますが…）。知識や技術がたくさんあるのと、問題解決能力とは別物のようですから、何か複雑そうな課題にあたったときにパレートの法則をふと思い出されるのもいいかもしれません。

重要となる乳房炎の原因を探るため、発症状況などをモニターしたデータを参考に、３つのポイントを確認しておくことが重要です。

そのひとつ目が「乳頭周辺から乳房炎原因菌を減らす」ことです。乳房炎を引き起こす環境性の原因菌を乳牛の周辺から取り除くことはできません。しかし減らすことはできます。牛体、特に乳房の汚れが顕著であっては、乳房炎が発症しやすいのも道理です。乳牛が極めて元気で、搾乳技術や搾乳機器の性能もピカイチであれば、一般的な少々の汚れでは乳牛の高い免疫力で発症をかなり抑制できるでしょう。しかし周産期で乳牛ががおる、暑熱ストレスを受ける、畜舎内が混んでいて満足した生活が送れない、体を舐める自由がかなり制限される、サイレージ内のカビ毒をかなり摂取したといったことに乳牛が苛まされると、牛体の汚れは強くインパクトを与えることになります。この先の具体的な説明は長くなりそうなので、また次回といたします。（続く）

※情報提供は釧路農協連より

パスチャライザーの有効活用
～衛生管理は大切～

衛生管理の重要性についてパスチャライザー活用の観点からお話させていただきます。

パスチャライザーとは

パスチャライザーは、子牛へ給与する初乳や移行乳を60℃30分で加熱殺菌する装置です。

主な目的は、母乳が伝搬経路のひとつとなるヨーネ病や牛白血病の蔓延予防、衛生的な初乳や移行乳の給与です。

使用している農場からは、「子牛の下痢が減った」「毛づやが良くなった」など、その効果を実感する声が多く聞かれます。

パスチャライザー

パスチャライザーの課題

①加熱殺菌、冷却に約90分の時間を要するため、朝（夕方）処理したミルクを保管し、夕方（翌朝）給与するという体系の農場が一般的です。保管中、残存菌の増殖が心配されます。

②加熱殺菌という機器の特性上、衛生に対し安心感をもちます。しかし、効果は衛生管理に不備があると、十分活かされない可能性があります。

生乳と加熱乳の生菌数調査より

パスチャライザー使用農場の協力のもと、加熱処理前の生乳と加熱処理後、哺乳前の加熱乳の生菌数調査を行いました。

【結果】（図1参照）

①処理後、すぐに哺乳するA農場は、パスチャライザーにより菌数が減った加熱乳を給与することができていました。

②処理後、8時間以上保管し哺乳するB農場とC農場の内、B農場では菌数の少ない加熱乳を給与していました。一方、C農場では、保管中に菌数が処理前の15倍に増加していました。

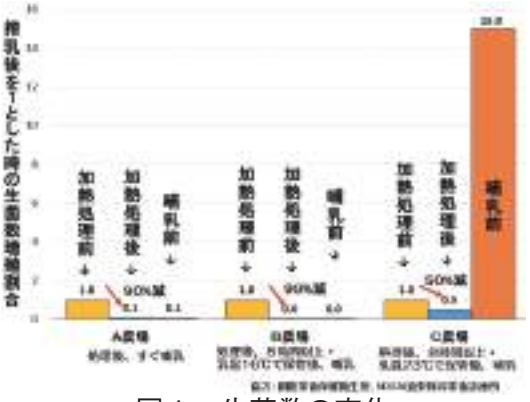


図1　生菌数の変化

【考察】

B農場とC農場の違いのひとつは保管温度（Bは16℃、Cは23℃）でした。A農場のように処理後すぐの哺乳が推奨されますが、できない場合は、冷蔵庫や流水で冷やすなど極力低温保管することが必要です。

B農場とC農場の違いは、保管温度のほかにもありました。

まず、パスチャライザーの洗浄方法です。B農場では1日1回アルカリ洗浄するのに対し、C農場では水洗浄のみでした。

次に、C農場ではこの日、ミルクが不足していたため、やむを得ず乳房炎乳を加えて使っていました。

C農場では機器や生乳の衛生状態により、加熱殺菌能力が十分発揮されなかった可能性があります。

B農場からは「乳房炎乳を使用した時は下痢が増える」との声もあり、生乳の衛生品質の大切さがわかりました。

パスチャライザー活用ポイント

以上のことからポイントを次の通りまとめました。

○加熱乳は速やかに哺乳する
○加熱乳を保管する場合は、極力低温を保つ
○衛生的な生乳を加熱処理する
○パスチャライザーは使用毎に洗浄する

さいごに

これらのポイントは、パスチャライザーを使用していない農場でも同じことがいえます。

この機会に搾乳、バケットミルカー、哺乳瓶など一連の衛生管理を確認し、元気な子牛づくりの一助にして下さい。

パスチャライザー活用のポイントをまとめたリーフレットを配布しています。

お問合せは普及センター迄

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

11月13日、JAグループ北海道の役職員はじめ約240名が参加し、「第29回JA北海道大会」を開催しました。大会では、将来ビジョン『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」』の実現を継承し、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を決議しました。協同の力と総合力を発揮し、一丸となって決議事項の実践を通じた自己改革に取り組みます。

決議事項の実践内容や農業・JA・協同組合の意義や価値の発信により、北海道550万人から信頼されるJAグループ北海道を目指します。

JA北海道信連

9月に、札幌市において、小学生が社会の仕組みを学ぶ職業体験イベント「ミニさっぽろ」が開催され、JAバンク北海道では金融機関という役割で参加しました。

JAバンクでは、お金の数え方の練習やお仕事体験した子へお給料を支払う仕事を体験してもらい、中には「お金持ちになったみたい」とお札の束を広げる子も・・・。

未来のサポーターづくりへ、来年以降も参加していきたいと思います。

ホクレン

北海道の味覚を一堂に集めた毎年恒例秋のイベント「2018第47回ホクレン大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。今年はJA北海道女性協議会の「私の心を込めた農畜産物おむすび！」とJA北海道農協青年部協議会の「農業クイズ」などの生産者参加イベントも行われ、大収穫祭を盛り上げ、連日、どの売り場も秋の味覚を求める人々で大盛況でした。

JA共済連北海道

10月27日（土）にANAクラウンプラザホテル札幌にて、第45回目となる「平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を開催しました。全道より4,342点の応募をいただいた中から金賞9作品が選出され、受賞されたみなさんが表彰されました。

今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されております。

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

JAの自動車共済加入者向け

突然の「事故」や「故障」など緊急時に心強いスマホアプリ!!

JA共済 くるまのミカタ

お車のトラブル時にアプリを利用すれば受付窓口へのスムーズな連絡が可能です。

1 レッカー・ロードサービスの要請

受付窓口 JA共済サポートセンター

1. GPS機能で位置情報を送信することができます!
2. トラブル状況の画像を送信することができます!
3. お車情報を自動送信します! ※ご利用時に事前登録がされていないと、お車情報はJA共済サポートセンターに通知されません。

➡ 必要な情報をJA共済サポートセンターに送信でき、迅速にレッカー・ロードサービスを受けられます!

2 事故受付

受付窓口 JA共済事故受付センター

1. GPS機能で位置情報を送信することができます!
2. お車情報を自動送信します! ※ご利用時に事前登録がされていないと、お車情報はJA共済事故受付センターに通知されません。

➡ 必要な情報をJA共済事故受付センターに送信でき、迅速な事故受付が可能となります。

※JA共済事故受付センターにトラブル状況の画像を送信することはできません。

事故や故障が発生した際には、JA共済サポートセンターまたはJA共済事故受付センターの専門スタッフがいつでも(24時間365日)対応いたします。ぜひ、お持ちのスマートフォンにアプリをご準備ください。

※アプリご利用時の通信料は、ご利用者さまのご負担となります。

アプリのダウンロード

無料でダウンロードできます。

〈 アプリダウンロードはコチラから 〉

Download on the App Store / Google Play

くるまのミカタ 検索

※iPhone、iPad、App Storeは米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
※「Android」「Google Play」はGoogle Inc.の商標または登録商標です。

■ ご注意事項

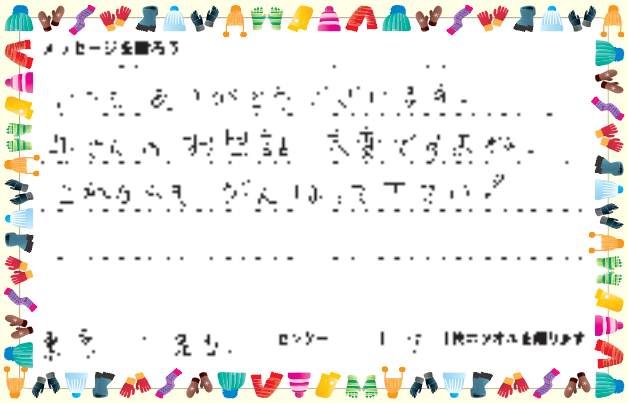
交通事情、気象状況等により、対応業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。ご利用者さまのご契約内容・トラブル状況によっては、サービスの一部または全部がご提供できない場合があります。ご利用者さまのお使いの機種および設定によっては、位置情報を必要とするサービスをご利用いただけない場合があります。アプリで提供されるGPSによる測位結果の位置情報は、利用環境やGPS衛星の電波状況により、位置が表示されない場合または実際の位置と誤差が生じる場合があります。詳細はアプリ内の「JA共済くるまのミカタ」利用規約をご確認ください。

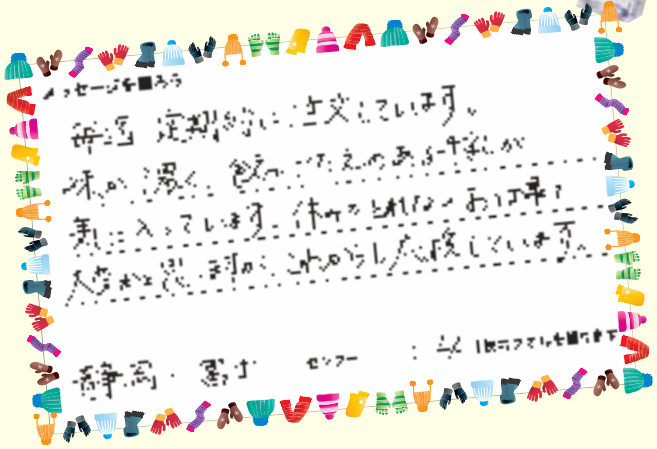
※このチラシは「JA共済くるまのミカタ」の概要を説明したものです。詳細につきましては、お近くのJAにお問い合わせください。
※スマートフォン向けアプリのため、フィーチャーフォンの場合はご利用いただけません。また、お使いのスマートフォンの機種・設定等によってはご利用いただけない場合があります。
※本アプリは、JA共済の自動車共済に加入されている方向けに無料提供するものです。
※このチラシに記載している画面はイメージです。実際の画像と異なる場合があります。

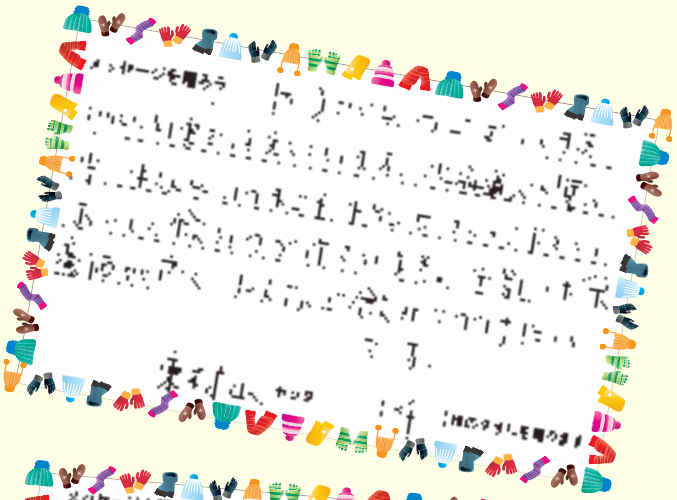
JA共済

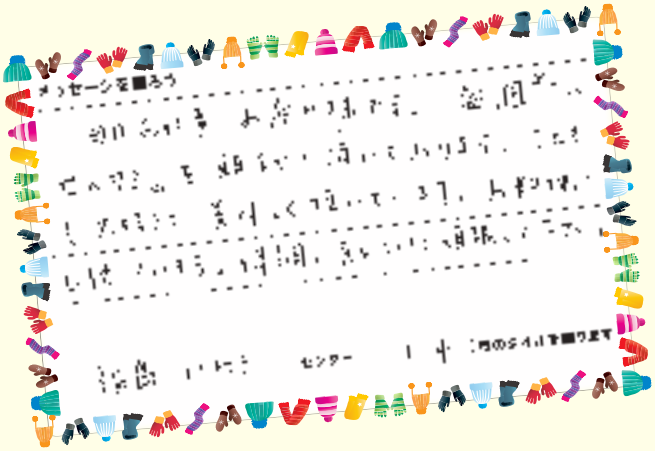
「タオルを送る運動」メッセージ

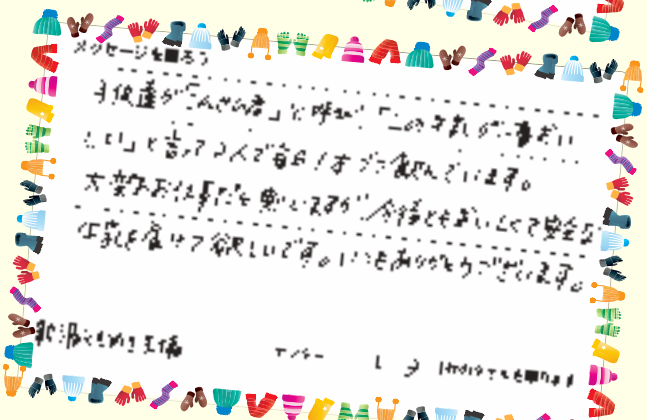
パルシステム生活協同組合連合会「こんせん72牛乳」利用者の方々より、酪農生産者の皆様へ贈られたタオルとともに、お礼のメッセージを頂いております。ここではその一部を数回に分けてご紹介させて頂きます。

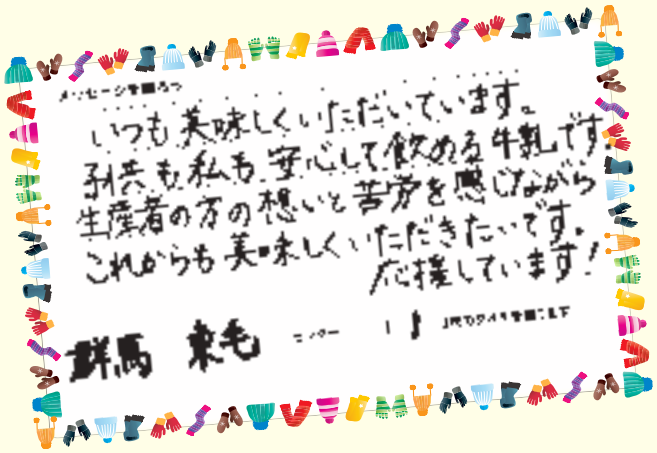


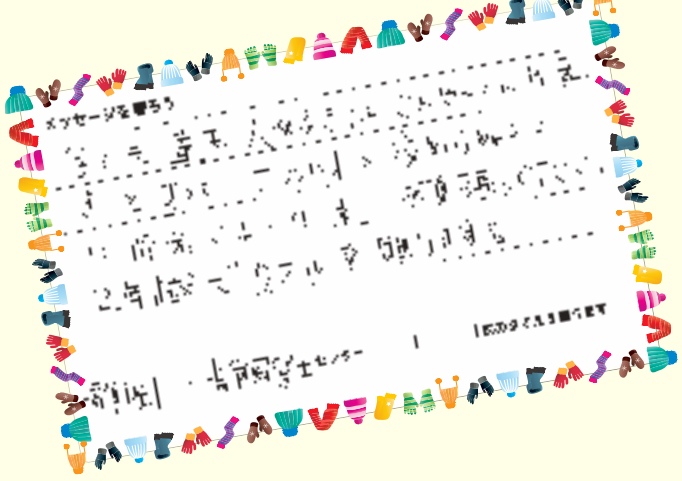


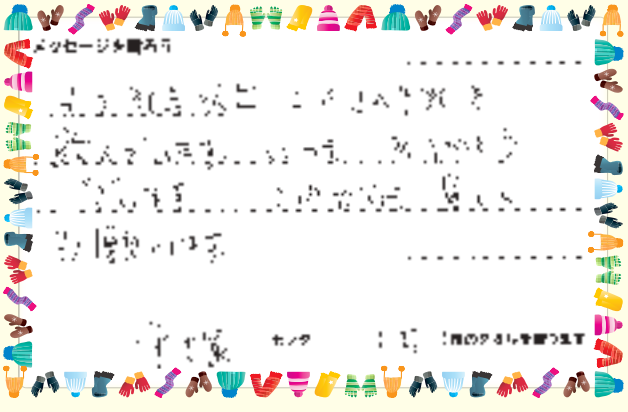












理　事　会　報　告

１１月定例理事会　平成30年11月30日（金）

報告事項

１．専決事項及び諸会議について
２．各委員会・諸会議等について
３．10月末財務状況について
４．事業の実施処理状況について
５．大家畜特別支援資金による借換対象資金に係る延納利息の減免について
６．農林漁業セーフティネット資金（災害）の取扱いについて

付議事項

議案第１号　融資の承認について
議案第２号　草地整備改良事業費の支出について
議案第３号　固定資産の取得について
議案第４号　諸規程の制定について
議案第５号　諸規程の一部変更について

その他協議事項

１．当面の業務日程について

■平成30年度	生乳生産実績（11月）			
	月計乳量（kg）	11月前年比(%)	累計乳量（kg）	累計前年比(%)
ＪＡくしろ丹頂	8,059,175.7	101.9	68,111,689.9	103.2
鶴居地区	3,015,464.9	105.0	25,229,398.3	106.4
幌呂地区	2,071,495.7	97.7	17,569,102.5	100.2
白糠地区	1,618,863.1	102.6	13,560,457.0	100.3
音別地区	1,353,352.0	101.5	11,752,732.1	104.8
管内計	42,102,533.7	100.4	353,582,838.2	100.2
（前年度管内計）	41,952,766.1		352,938,123.3	

辞　令　発　令

氏　名	新　所　属	旧　所　属
		（平成30年12月１日付）
成戸道典	管理部　管理課経理電算係兼企画管理係　正職員	管理部　管理課経理電算係兼企画管理係　準職員
		（平成30年12月17日付）
倉内佐知子	音別支所　燃料課音別給油所係	白糠支所　購買課白糠給油所係

農業用廃プラスチックを回収

10月30・31日、鶴居及び幌呂地区で今年度２回目となる農業用廃プラスチックの回収作業が行なわれました。

環境問題に対する国民の関心、生産者並びに消費者の健康維持と快適な農村環境の実現のため、事業者における農業用廃プラスチックの適正処理が強く求められております。今回、９４４個のフレコンバックを回収し適正処分致しました。

幌呂地区の廃プラ回収中

編集後記 EDITOR'S NOTE

□一年の世相を漢字で表す今年の漢字が発表され、北海道胆振東部地震や西日本豪雨などの自然災害により多くの国民が被災した事等から、災害の「災」の字が選ばれました。この地震の発生を起因とした北海道全域における大規模停電の発生により、当ＪＡでも搾乳作業等に大きな影響を受け、生乳廃棄や乳房炎の発生等甚大な被害を受けました。いつ発生するかわからない自然災害や非常事態への災害支援対策等につきましては、今後とも検討して参りますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。
本年も広報誌たんちょうの作成にご協力頂き大変ありがとうございました。

たんちょう VOL.134 平成30年12月発行
■編集発行 釧路丹頂農業協同組合管理部管理課
■印刷 白糠印刷㈱

JAくしろ丹頂　年末年始日程表

年月日＼部門	各地区の事務所			販売		家畜改良	生乳	哺育育成センター	幌呂育成牧場
	管理・共済	金融	営農	鶴居・幌呂	白糠・音別	鶴居・幌呂 白糠・音別			
平成30年 12月24日(月)							通常業務		
12月25日(火)									
12月26日(水)									
12月27日(木)				一般市場（初生のみ）					
12月28日(金)	業務納め			業務納め					
12月29日(土)		ATMのみ稼働							
12月30日(日)									
12月31日(月)						業務納め＊			
平成31年 1月1日(火)									
1月2日(水)						業務始め＊			
1月3日(木)									
1月4日(金)		業務始め							
1月5日(土)		ATMのみ稼働							
1月6日(日)									
1月7日(月)	業務始め		業務始め	業務始め					

年月日＼部門	購買・鶴居			購買・幌呂			購買・白糠		購買・音別		
	生活店舗	給油所	資材	生活店舗	給油所	資材	給油所	資材	生活店舗	給油所	資材
平成30年 12月24日(月)											
12月25日(火)									（抽選開始）		
12月26日(水)	（抽選開始）			（抽選開始）					年末大売出し		
12月27日(木)											
12月28日(金)	年末大売出し			年末大売出し							
12月29日(土)			業務納め		業務納め＊	業務納め		業務納め			業務納め
12月30日(日)				業務納め							
12月31日(月)	業務納め＊	業務納め＊					業務納め＊		業務納め＊	業務納め＊	
平成31年 1月1日(火)											
1月2日(水)							業務始め＊				
1月3日(木)		業務始め			業務始め＊						
1月4日(金)	業務始め 午後5時まで						午後6時まで		業務始め 午後5時まで	業務始め	
1月5日(土)	午後5時まで						午後6時まで		午後5時まで		
1月6日(日)											
1月7日(月)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め

＊午前中のみ営業となります。

営業日　休業日

1/7(月)は、全業務午後4時までの営業となります。ATMの稼働は午後3時30分迄の稼働となります。

・万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル（0120-258-931）に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

◆鶴居地区の皆様へ
・生産資材に関することは、田中課長（090-5074-2374）に連絡して下さい。
・万一、配合飼料が無くなった時は、田中課長もしくは大松運輸（57-8388）に連絡して下さい。

◆幌呂地区の皆様へ
・生産資材に関することは、泉課長（090-7055-1541）に連絡して下さい。
・給油スタンドに関することは、泉課長（090-7055-1541）に連絡して下さい。
・万一、配合飼料が無くなった時は、全酪連釧路事務所（小松原職員080-5471-3655）か（岡田職員080-6540-4620）に連絡して下さい。

◆白糠地区の皆様へ
・生産資材に関することは、大石課長（自宅6-2734　携帯090-1640-0376）に連絡して下さい。
・給油スタンドに関することは、給油所（2-2084）に連絡して下さい。
・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸（0154-57-2777）に連絡して下さい。

◆音別地区の皆様へ
・Aコープは1月4、5日は午後5時までの業務となります。
・生産資材に関することは、林課長（090-8905-1705）に連絡して下さい。
・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸（0154-57-2777）に連絡して下さい。
・給油スタンドに関することは、若狭係長（自宅6-3707　携帯090-4870-9101）に連絡して下さい。

◆人工授精業務、年末年始の対応について
・12月31日及び1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分（厳守）対応となりますので、よろしくお願い致します。